

# 愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

平成 15 年(2003 年)

愛媛県感染症情報センター  
(愛媛県立衛生環境研究所)



## はじめに

平成 15 年愛媛県感染症発生動向調査事業をご報告申し上げます。

平素、当事業へのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、ご一読の上、ご助言、ご教示賜わりますようお願い申し上げます。

さて、感染症発生動向調査は、感染症の予防施策を推進するための感染症法の最も基本となる事項です。対象疾患および感染症分類の見直し等、昨年改正された現行感染症法においても、SARS や高病原性鳥インフルエンザ等の出現を背景として、ますますその重要性が認識されています。

今後とも増加することが予想される新興再興感染症のアウトブレイクやバイオテロの発生等の健康危機への対応準備としても、国際的に減少が期待されている麻疹等の予防可能疾病への対応としても、まず、平時から正確で感度の高いサーベイランスの確立、施行へと前進を願っています。

当事業へのご理解が広くゆき渡り一層有効に機能できますよう、関係各位からの関連情報のご提供等、当センターとの日常的相互連絡網の充実を渴望しています。ご気楽にご一報ください。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくようお願い申し上げます。

平成 16 年 8 月

愛媛県立衛生環境研究所

所長 井上博雄



# 資料目次

2004年感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	1
1 全数把握対象 一～五類感染症	1
(1) 一類感染症	1
(2) 二類感染症	1
(3) 三類感染症	1
(4) 四類感染症	3
(5) 五類感染症	4
表 - 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	7
全数把握対象疾患発生状況(月別)	8
全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	9
全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	10
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 発生動向の概況	11
(2) インフルエンザ定点対象疾患	13
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	14
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	27
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	29
(6) STD定点対象疾患(月報)	32
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	36
表 - 週報対象疾患 週別患者報告数	38
週報対象疾患 週別定点当たり患者報告数	40
週報対象疾患 年齢区分別患者報告数	42
月報対象疾患 月別患者報告数	43
月報対象疾患 月別定点当たり患者報告数	44
月報対象疾患 年齢区分別患者報告数	45
2004年結核発生動向調査結果(速報値)	46
1 概況	46
2 新規登録患者の状況	46
3 年末現在結核登録者の状況	48
表 - 新登録患者数(速報値)	49
年末現在登録者数(速報値)	50

感染症発生動向調査 病原体検出状況	51
1 細菌	51
(1) 二類感染症	51
(2) 三類感染症	51
(3) 五類感染症	52
2 ウイルス	53
表 - 病原体検査定点別検査数	53
定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況	54
細胞培養による月別ウイルス検出状況	55
臨床診断名別ウイルス検出状況	56
感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況	57
インフルエンザウイルス検出数	58
疾患別ウイルス検出状況	58
流行のみられた感染症からの週別ウイルス検出	59
感染症流行予測調査	60
1 インフルエンザ感染源調査結果	60
2 日本脳炎感染源調査	61
3 ポリオ感染源調査	61
4 インフルエンザ集団発生事例検査結果	61
5 インフルエンザHI抗体保有調査	62
6 ポリオウイルス中和抗体保有調査	64

## 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要





## 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、感染症の患者発生に関する情報（患者情報）と、感染症の病原体に関する情報（病原体情報）を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ確かな感染症対策の確立に資することを目的とし、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」（平成 13 年 1 月施行）に基づき、実施している。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正（平成 15 年 11 月 5 日）に伴い、対象疾患および感染症類型が見直され、それまでの一類から四類感染症 72 疾患を、一類から五類感染症 86 疾患とした。このうち一類から四類感染症と五類感染症 14 疾患は、全医療機関を対象とする全数把握感染症で、その他の五類感染症は指定届出機関（定点）が週単位あるいは月単位で報告する定点把握感染症である。

### 1 一類感染症(7 疾患)

エボラ出血熱，クリミア・コンゴ出血熱，重症急性呼吸器症候群（病原体が S A R S コロナウイルスであるものに限る），痘そう，ペスト，マールブルグ病，ラッサ熱

### 2 二類感染症(6 疾患)

コレラ，細菌性赤痢，腸チフス，パラチフス，ジフテリア，急性灰白髄炎

### 3 三類感染症(1 疾患)

腸管出血性大腸菌感染症

### 4 四類感染症(30 疾患)

E 型肝炎，ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む），A 型肝炎，エキノコックス症，黄熱，オウム病，回帰熱，Q 熱，狂犬病，高病原性鳥インフルエンザ，コクシジオイデス症，サル痘，腎症候性出血熱，炭疽，つつが虫病，デング熱，ニパウイルス感染症，日本紅斑熱，日本脳炎，ハンタウイルス肺症候群，B ウイルス病，ブルセラ症，発しんチフス，ポツリヌス症，マラリア，野兔病，ライム病，リッサウイルス感染症，レジオネラ症，レプトスピラ症

### 5 五類感染症(42 疾患)

#### (1) 全数把握の対象(14 疾患)

アメーバ赤痢，ウイルス性肝炎(E 型及び A 型肝炎を除く)，急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)，クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病，劇症型溶血性レンサ球菌感染症，後天性免疫不全症候群，ジアルジア症，髄膜炎菌性髄膜炎，先天性風しん症候群，梅毒，破傷風，バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，バンコマイシン耐性腸球菌感染症

#### (2) 定点把握の対象(28 疾患)

インフルエンザ定点の対象(1 疾患)

インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

小児科定点の対象(13 疾患)

R S ウイルス感染症，咽頭結膜熱，A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎，水痘，手足口病，伝染性紅斑，突発性発しん，百日咳，風しん，ヘルパンギーナ，麻しん(成人麻しんを除く)，流行性耳下腺炎

眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎，流行性角結膜炎

STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ，淋菌感染症

基幹定点の対象(8 疾患)

クラミジア肺炎(オウム病を除く)，細菌性髄膜炎(真菌性を含む)，無菌性髄膜炎，マイコプラズマ肺炎，成人麻しん，ペニシリン耐性肺炎球菌感染症，メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症，薬剤耐性緑膿菌感染症

なお、結核予防法の規定による届出等に基づく結核患者の情報についても同事業で扱っている。

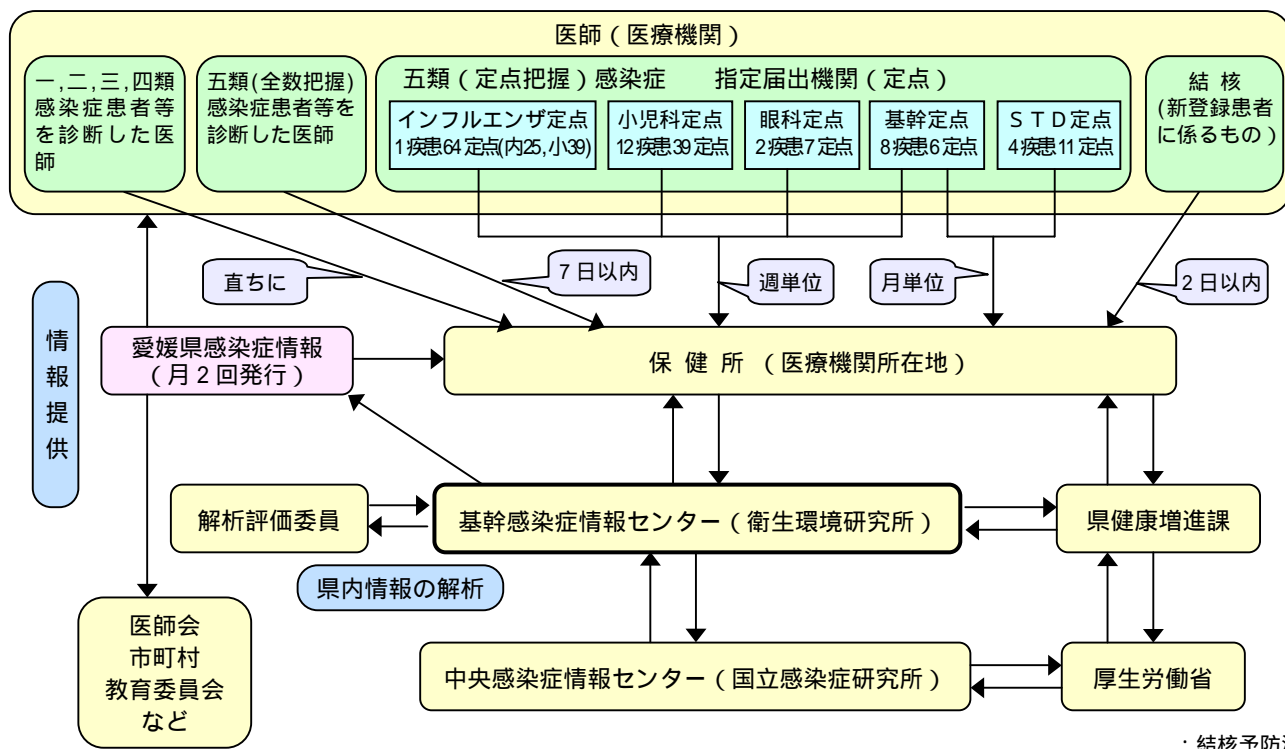
定点にはインフルエンザ定点(内科と小児科)、小児科定点、眼科定点、STD 定点(皮膚科、泌尿器科、婦人科)、基幹定点(内科と小児科を持つ300床以上の病院)の5種類あり、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、これらの定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

保健所	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	病原体
伊予三島	5	3		1	1	2
新居浜	7	4	1	1	1	2
西条中央	5	3		1		1
今治中央	8	5	1	1	1	3
松山市	16	10	3	4		4
松山中央	8	5	1	1	1	3
大洲	3	2				1
八幡浜中央	5	3		1	1	2
宇和島中央	7	4	1	1	1	2
合計	64	39	7	11	6	20

小児科定点はインフルエンザ定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は、保健所を通じて愛媛県基幹感染症情報センター(衛生環境研究所)へ集約され、中央感染症情報センターへ報告するとともに、関係機関へ週報単位で還元している。また月2回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



: 結核予防法

図 愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

## 指定届出機関一覧(平成15年)

(平成15年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点	備考
松山市	インフルエンザ	稲田内科消化器科医院	松山市		
		おおの内科消化器科医院	松山市		
		冲永内科医院	松山市		
		重松内科胃腸科医院	松山市		
		久野内科	松山市		
		永山内科	松山市		
	小児科	石丸小児科医院	松山市		
		上田小児科医院	松山市		15年3月まで
		いとう小児科	松山市		15年4月から
		加賀田小児科	松山市		
		平井こどもクリニック	松山市		
		河野小児科医院	松山市		
		児玉小児科医院	松山市		
		徳丸小児科医院	松山市		
		新野小児科	松山市		
		まつうら小児科	松山市		
		山形小児科	松山市		15年11月まで
		くす小児科	松山市		15年12月から
	眼科	高岡眼科小児科医院	松山市		
		吉田眼科	松山市		
一色眼科		松山市			
STD	松山市赤十字病院(泌尿器科)	松山市			
	銚石医院	松山市			
	松山市民病院(産婦人科)	松山市			
	重川産婦人科医院	松山市			
伊予三島	インフルエンザ	矢部内科	伊予三島市		
		川関高橋医院	川之江市		
	小児科	川上こどもクリニック	川之江市		
		大坪小児科	伊予三島市		
		鈴木医院	宇摩郡		
	STD	大西泌尿器科クリニック	伊予三島市		
基幹定点	県立伊予三島病院	伊予三島市			
新居浜	インフルエンザ	発知医院	新居浜市		
		浜本内科	新居浜市		
		石川内科	新居浜市		
	小児科	山本小児科クリニック	新居浜市		
		マナベ小児科	新居浜市		
		しおだこどもクリニック	新居浜市		
		松浦小児科医院	新居浜市		
	眼科	鈴木眼科	新居浜市		
	STD	なめた皮膚科医院	新居浜市		
	基幹定点	住友別子病院	新居浜市		
西条中央	インフルエンザ	医療法人土岐医院	西条市		
		福田医院	周桑郡		
	小児科	高橋こどもクリニック	西条市		
		医療法人ながい小児科	西条市		
		井上医院	東予市		
STD	公立周桑企業団公立周桑病院	東予市			

(平成15年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点	備考
今治中央	インフルエンザ	瀬戸内海病院	今治市		
		消化器科久保病院	今治市		
		重見内科医院	今治市		
	小児科	みぶ小児科	今治市		
		まつい小児科	今治市		
		今岡小児内科	今治市		
		医療法人起生会 武田医院	今治市		
	喜多嶋診療所	越智郡			
	眼科	高木眼科病院	今治市		
STD	今井皮膚泌尿器科医院	今治市			
基幹定点	県立今治病院	今治市			
松山中央	インフルエンザ	医療法人かざはやクリニック	北条市		
		きむら内科クリニック	伊予市		
		みかわクリニック	上浮穴郡		
	小児科	檜垣小児科内科医院	北条市		
		久万町立病院	上浮穴郡		
		宇山小児科	伊予市		
		小泉小児科	伊予郡		
	いのうえ小児科	温泉郡			
	眼科	いずみだ眼科	温泉郡		
STD	村上ひ尿器科皮ふ科	北条市			
基幹定点	愛媛大学医学部附属病院	温泉郡			
大洲	インフルエンザ	市立大洲病院	大洲市		
	小児科	亀井小児科	大洲市		
		ごうお小児科医院	大洲市		
八幡浜中央	インフルエンザ	山本医院	八幡浜市		15年6月まで
		三瓶病院	西宇和郡		15年7月から
		町立野村病院	西宇和郡		
	小児科	守口小児科医院	八幡浜市		
		芳我小児科	八幡浜市		
		山下小児科	西宇和郡		
	STD	しまだ医院	八幡浜市		
基幹定点	市立八幡浜総合病院	八幡浜市			
宇和島中央	インフルエンザ	田中循環器科内科医院	宇和島市		
		町立吉田総合病院	北宇和郡		
		粉川内科	南宇和郡		
	小児科	市立宇和島病院	宇和島市		
		石川医院	宇和島市		
		桑折小児科	宇和島市		
		県立南宇和病院	南宇和郡		
	眼科	阿部眼科	宇和島市		
	STD	秋山皮膚泌尿器科医院	宇和島市		
基幹定点	市立宇和島病院	宇和島市			